

韓国の季節の伝統行事「ミョンジョル」 国際交流員 李城姫

皆さん、こんにちは。韓国の釜山からやってきた、国際交流員の李城姫です。昨年4月に佐世保に来てから、もう10カ月が経ちました。さまざまな国と積極的に交流をしようとする心温かな佐世保の皆さんと出会い、充実した日々を送っています。



めて前後の3日間が祝日で、この日はソンピョン(松餅)という餅を食べるのが風習です。前日から親戚みんなで手作りし、きれいな形のお餅を作ると将来かわい女の子が生まれるという言い伝えがあるため、私も子どものころは親戚の子たちと出来を競いなが

ら、作っていました。また、チュソクには農作物の実りを祝う意味もあるため、新米や初物の果物などをたくさん食べることができます。その他、「タノ」という韓国の端午の節句(旧暦5月5日)や冬至から105日目に当たる日に行う「ハンシク(寒食)」というミョンジョルがあり、これらを合わせて韓国4大ミョンジョルといえます。また、旧暦の1月15日は「テポルム」という豊作と無病息災を願う日で、クルミやクリ、ギンナンなどのナッツ類を食べたり、さまざまな伝統遊戯を行ったりします。

日本と似ているようで、違うところもある韓国。これからも広報させばや出前講座などを通して、皆さんにさまざまな韓国の文化を紹介していこうと思います。

国際政策課 ☎ 24-1111

市長記

歌会始の儀の詠進歌に中島由優樹君が入選!

文法の 尊敬 丁寧 謙譲語
僕にはみんな 同じに見える



天皇、皇后両陛下や皇族などの歌が伝統的な節回しで披露される新春恒例の「歌会始の儀」が1月12日(金)に皇居宮殿で開かれました。

本年の歌会始・一般の部には、清水中学校1年の中島由優樹君が歴代最年少の12歳で入選の栄に輝かれ、天皇皇后両陛下や皇族の方々の歌と共に朗詠されました。「語」を主題とした本年は国内外から2万453首の応募があり、その中から10人が入選されたとのことでした。

この歌会始は、鎌倉時代中頃から宮中で始まったといわれていますが、現在のように優れた詠進歌を詠んだ者を招くようになったのは明治時代からのようです。しかし、記録が残っているのは1947年以降ということで、歴代最年少の12歳での入選は中島君で3人目とのことでした。本市では昭和58年以来2人目の快挙となりました。

中島君の今回の入選はもちろんご本人の才能や感性によるものが最も大きいと思いますが、その基礎は、清水中学校が「言語活動の充実」「表現力の向上」という校内研究テーマの下、年間を通して取り組んでいる国語科での俳句や短歌づくりによって育まれたものであり、そうしたことの成果の現れでもあると思います。

今回の中島君のニュースは大変多くの皆さんに喜びを与えてくれました。このたびの栄誉に改めましてお祝いを申し上げますとともに、指導された清水中学校の先生方にも心から敬意を表したいと思います。

佐世保市の小・中学校生徒の全国学力テストの成績が芳しくないとの評価もあるようですが、先生と生徒・児童、そして家庭が力を合わせて地道に努力していけば、近い将来、きっと中島君の入選のような全国に誇れるものが生まれてくると思います。中島君と清水中学校の取り組みをお手本に、勉学にスポーツに頑張る「佐世保っ子」をみんなで育てていきましょう!

佐世保市長 朝長 則男

させば市政だより キラっ都させば

おもてなしの心を生かしたまちづくり

朝長市長が市の施策などについてお知らせする広報番組「させば市政だより～キラっ都させば～」を放送中! 第8回放送では宿場町としての歴史を持つ江迎のまちづくりや、春のイベントについてお知らせします。視聴者プレゼントもありますので、どうぞご覧ください。

【放送スケジュール】

第1・3土曜 9:25(NBC)、11:45(KTN)
第2・4土曜 11:40(NCC) 第2・4日曜 6:30(NIB)
毎週日曜 18:55 テレビ佐世保
※2月放送分は2月上旬に市HPに公開します。



◀スマホなどでの視聴はこちら



◀視聴者プレゼントの応募はこちら

国際政策課 ☎ 24-1111

人の動き

1月1日現在
総人口 251,288人(前月比-262人)
男性 118,631人(-117人)、女性 132,657人(-145人)
世帯数 105,310世帯(前月比-125世帯)
12月中の動き
転入 421人、転出 566人、出生 180人、死亡 297人

させば市政だより

テレビ
NBC 土曜 9:25～9:30、NCC 土曜 11:40～11:45
KTN 土曜 11:45～11:50、NIB 日曜 6:30～6:35
ラジオ
FM長崎 火曜 9:05～9:10
FMさせば 金曜 13:00～13:55、土・日曜 8:00～8:55(再放送)
新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

徳育通信 71

聞いて「徳」する話 33 気持ちの良い言葉の掛け合い



最近すごく気分が良いことがありました。
近年、大型自動車の運転手で女性の方をよく見掛けますが、佐世保市営バスにも女性の運転手がいます。その方が

「ありません」という言葉が返ってきました。
「行ってきます」「行ってらっしゃい」という短いやり取りですが、自分の家でも気持ちの良い言葉の掛け合いをしてみようと思いました。

ボランティアガイド 水口 良照(70代)

車内で観光ガイドをされる話は有名ですが、私が午前中に乗ったとき、降りるお客さんに「行ってらっしゃいませ。ありがとうございます」と呼び掛けておられました。私はその言葉を聞いて、すごく気分が良くなりました。

私は自分の家で「行ってらっしゃい」という言葉を掛けてもらった覚えがありませんでした。あの運転手さんは自宅でも「行ってらっしゃい」と家族に声をかけているんだろうなと思い、その話を妻にしてみると、「私もあなたから「行ってきます」という声を掛けてもらった

【聞いて徳する話】募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市HPからダウンロードすることもできます。
事務局
佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
〒857-0054 栄町4番11号
電話・ファクス 23-2856
Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp